教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	歴史総合	2	2	スポーツ探究科

使用教科書	副教材等
歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本（実教出版）	歴史総合（実教出版）

科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて理解しようとしている。

評価方法

知識・技能	定期考査
思考・判断・表現	定期考査、ポートフォリオ、ワークシート、パフォーマンスなど
主体的に学習に取り組む態度	定期考査、ポートフォリオ、パフォーマンス（授業態度含）など

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	歴史の扉		諸資料を活用し、日本や世界の歴史のつながりについて主体的に課題を解決しようとする。			○
	第１編 近代化と私たち	近代化への問い	近代化に関する複数の資料をを活用して、主体的に問いを表現できる。			○
		第１章 近代化への胎動	17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の４つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解し、表現できる。	○	○	○
5 6		第２章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における生産と流通、アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解しいる。また、世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府が崩壊していく関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○

6	第１編 近代化と私たち	第３章 欧米諸国と日本の国民国家形成	19世紀後半のヨーロッパの動きと日本の明治政府の政策、日本と欧米諸国の外交関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解している。また、日本における経済活動の特徴、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○
7		第４章 帝国主義の時代	19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてののアジアの政治と社会を理解している。	○	○	○
9	第２編 大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化への問い	20世紀前半の国際関係の緊密化や社会環境の変化に関する複数の資料をを活用して、主体的に問いを表現できる。			○
10		第５章 第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解し、表現できる。	○	○	○
11		第６章 経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解し、表現できる。	○	○	○
12・1	第３編 グローバル化と私たち	グローバル化への問い	グローバル化に関する複数の資料をを活用して、主体的に問いを表現できる。			○
		第７章 冷戦と脱植民地化	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解し、表現できる。	○	○	○
2・3		第８章 多極化する世界 第９章 グローバル化と現代世界	20世紀後半の経済成長や社会構造の変化についてその過程と課題について主体的に考察できる	○	○	○
	現代的な諸課題の形成と展望		これまでの学習を基に、持続可能な社会の実現を視野にいれ、主体的に課題を設定して追究できる。	○	○	○